

事業番号	05 10 04	事業改善シート（令和7年度実施事業分）			■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	総合リハビリテーションセンター運営事業（企業会計）	部局	健康福祉部	課・室	障がい者支援課			
		実施期間	R5 ~	E-mail	shogai-shien @ pref.nagano.lg.jp			

1 現状と課題

リハビリテーションを必要とする障がいのある方の中には、医療的にも社会的にも複雑かつ多様な事情を抱える場合があり、こうしたケースを民間の医療機関や福祉施設で対応するには限界がある。

特に若年・壮年層の中途障がい者が、医療的ケアを受けながら代替機能を獲得し、社会復帰等を目指せるような医療機関・福祉施設は数少ない。

2 事業目的

主に若年・壮年層の障がいのある方に対し、残された機能を最大限に引き出し、新たな代替機能を獲得するための専門的なりハビリテーションを提供するとともに、社会復帰等に向け福祉サービスの調整を行うことによって、それぞれの目指すゴール（就労・復学・社会復帰等）を実現し、地域社会とのつながりを保ち続けられるよう支援を行う。

3 事業目的を達成するための取組

① 障害者支援施設における福祉サービスの提供

利用者が早期に社会復帰できるよう、入所による生活訓練を通じて生活能力の向上に努めるとともに、機能訓練や職業訓練等による機能の改善や代替機能の獲得を図る。

② 病院におけるリハビリテーションの提供

脳血管障害や脊髄損傷等で身体に障がいのある方に対する早期リハビリテーションの実施、高次脳機能障がい者への支援及び脊椎疾患、関節疾患等の治療を行う。

4 成果指標

(推移の凡例 ↗: 改善 ↘: 悪化 →: 変化なし -: 数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度	R6年度		R7年度	達成状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込	推移		
①	施設入所者数（障害者支援施設）	人	6,526	7,333	↗	7,474	↗	8,336	R6年10月現在の実績から、R6年度見込数を上回る想定であり、同程度の増加幅を来年度も維持することを目標とした。
②	入院患者数（病院）	人	10,628	11,696	↗	12,123	↗	14,084	同上。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
4-2①	年齢・性別・国籍・障がいの有無や経済状況等が障壁とならない公正な社会の創出										

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	予算案	2月上旬公表予定		0			128.0
	要求	1,779,972		1,779,972	1,098,787		
R6年度	0	1,815,192	0	1,815,192	1,109,869		128.0
R5年度	0	2,075,172	△173,067	1,902,105	1,105,789	1,846,804	128.0

事業番号	05 10 04	細事業一覧（令和7年度実施事業分）			■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検		
事業名	総合リハビリテーションセンター運営事業（企業会計）		部局	健康福祉部	課・室	障がい者支援課	

細事業 No.	細事業名		R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	
1	総合リハビリテーションセンター運営事業		2,075,172 千円	1,815,192 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 1,779,972 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	障害者支援施設運営事業	直接	障がい者が能力と適性に応じて自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、必要な日常生活訓練、機能訓練、健康管理指導等を実施 機能訓練延人数 5,773人 施設入所延人数 8,336人			
2	補装具製作施設運営事業	直接	医学的判定に基づく補装具の製作及び修理等を実施 義肢装具製作件数 108件、義肢装具修理件数 162件			
3	病院運営事業	直接	障がい者等の心身の障がいの状態の軽減を図り、自立した日常生活または社会生活を営むために必要な専門医療を提供 外来延患者数 10,724人 入院延患者数 14,084人			